1281	65	題号不明	杓谷多見夫	言語	風のごとく過ぎし月日や冬芒	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	609	￥43	￥1	￥1	冬
1296	66	題号不明	秋山幹生	言語	冬耕の顔に大きく没日来る	2008	『俳句歳時記　第四版』	754	￥43	￥1	￥1	冬
1311	67	題号不明	勝又一透	言語	鶴のこゑ天に集まりゆきにけり	2008	『俳句歳時記　第四版』	814	￥43	￥1	￥1	冬
1321	68	題号不明	小原菁々子	言語	韮雑炊いよいよ素なる我が暮し	2008	『俳句歳時記　第四版』	727	￥43	￥1	￥1	冬
1322	68	題号不明	小原菁々子	言語	臘梅に日ざしなければ良く匂ふ	2008	『俳句歳時記　第四版』	825	￥43	￥1	￥1	冬
1339	70	題号不明	小室善弘	言語	胼の手を比べどの子が又三郎	2008	『俳句歳時記　第四版』	772	￥43	￥1	￥1	冬
1345	71	題号不明	小松崎爽青	言語	老の眼のものよく見えて寒四郎	2008	『俳句歳時記　第四版』	676	￥43	￥1	￥1	冬
1346	71	題号不明	小松崎爽青	言語	冴ゆる夜の抽斗に鳴る銀の鈴	2008	『俳句歳時記　第四版』	679	￥43	￥1	￥1	冬
1360	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	冬帝のずしりと在す石舞台	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	20	￥43	￥1	￥1	冬
1361	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	冬麗の日輪富士を吊らむとす	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	73	￥43	￥1	￥1	冬
1362	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	霧氷照るや地に一片の鳥の骨	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	102	￥43	￥1	￥1	冬
1363	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	雪の蔵王太陽一つ上げしのみ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	131	￥43	￥1	￥1	冬
1364	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	木曾は木の国木の樋に氷柱して	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	149	￥43	￥1	￥1	冬
1365	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	煮凝に箸かけて聴く怒濤音	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	274	￥43	￥1	￥1	冬
1366	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	くろがねの銃より固き猟夫の眼	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	353	￥43	￥1	￥1	冬
1367	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	秩父夜祭石もて焚火消しにけり	2008	『俳句歳時記　第四版』	785	￥43	￥1	￥1	冬
1368	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	大綿の眼の前に来て膨らめり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	536	￥43	￥1	￥1	冬
1369	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	枯蓮の終の力が水を刺す	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	588	￥43	￥1	￥1	冬
1374	73	題号不明	小川匠太郎	言語	詰りたる年大阪に見て帰る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	40	￥43	￥1	￥1	冬
1375	73	題号不明	小川匠太郎	言語	年守るや火を焚いて火を敬ひて	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	199	￥43	￥1	￥1	冬
1376	73	題号不明	小川匠太郎	言語	煮凝やなにもかもはや過ぎしこと	2019	『俳句歳時記　第五版』	792	￥43	￥1	￥1	冬
1377	73	題号不明	小川匠太郎	言語	水あげて茎漬はもう食べ頃か	2008	『俳句歳時記　第四版』	734	￥43	￥1	￥1	冬
1378	73	題号不明	小川匠太郎	言語	おのれ励めと寒柝を打ち鳴らす	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	333	￥43	￥1	￥1	冬
1393	74	題号不明	小池文子	言語	赤坂に能しまひたる時雨かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	97	￥43	￥1	￥1	冬
1403	75	題号不明	小島花枝	言語	滝凍てて金剛力のこもりけり	2008	『俳句歳時記　第四版』	706	￥43	￥1	￥1	冬
1404	75	題号不明	小島花枝	言語	人参を人参色に洗ひあげ	2008	『俳句歳時記　第四版』	845	￥43	￥1	￥1	冬
1411	76	題号不明	庄司圭吾	言語	人参を抜き大山を仰ぎけり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	345	￥43	￥1	￥1	冬
1412	76	題号不明	庄司圭吾	言語	寒鯉に曇り日の風わたりをり	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	525	￥43	￥1	￥1	冬
1413	76	題号不明	庄司圭吾	言語	人蔘を抜き大［だい］山［せん］を仰ぎけり	2019	『俳句歳時記　第五版』	916	￥43	￥1	￥1	冬